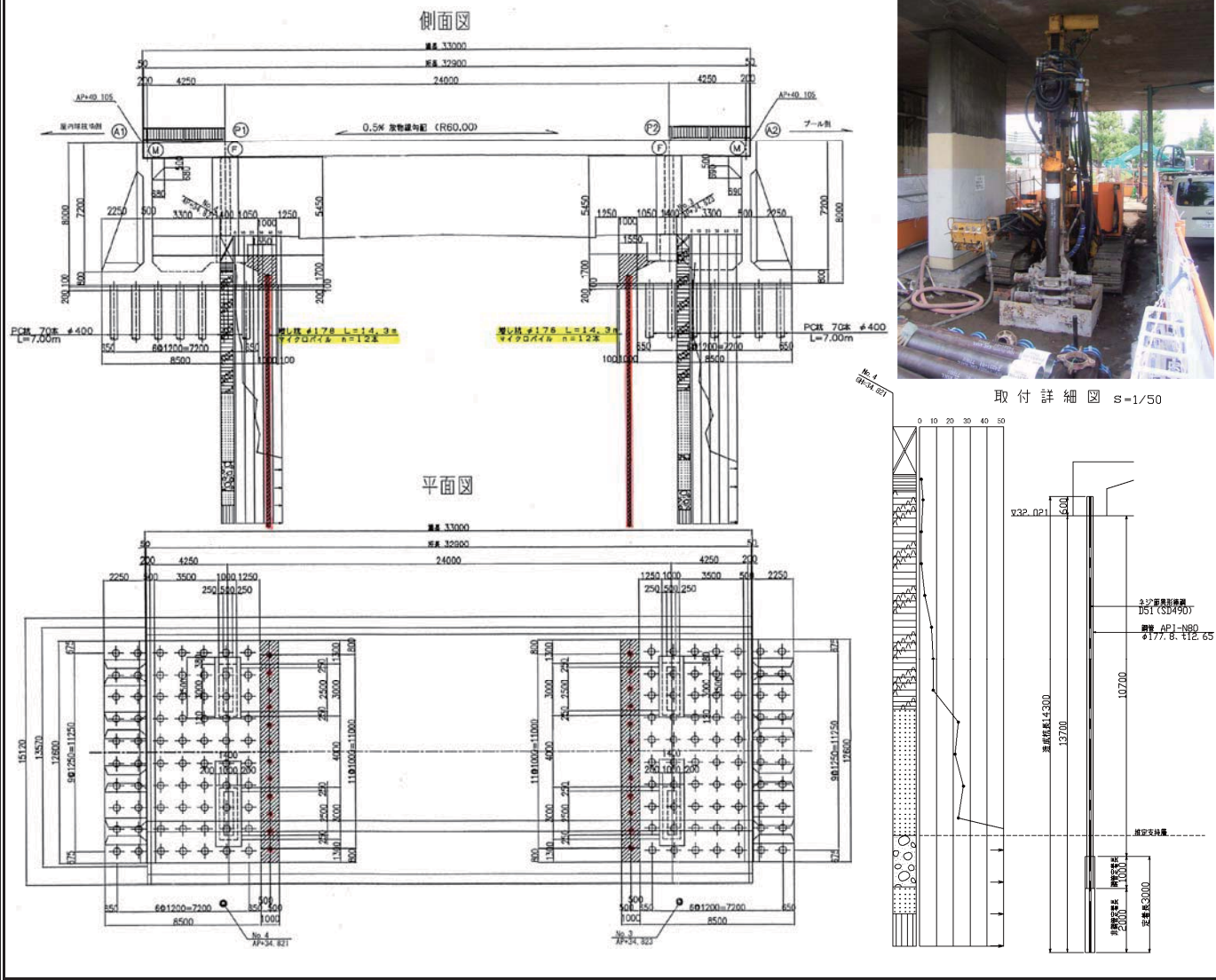


| | |
|-------|------------------------------------|
| 用途 | 歩道橋の橋脚耐震補強 |
| 工事名 | 駒沢オリンピック公園 橋耐震補強工事(その2) |
| 工事場所 | 東京都世田谷区駒沢公園地内 |
| 発注者 | 東京都東部公園緑地事務所 |
| 施工時期 | 平成19年8月～平成20年1月 |
| 杭形状 | P1:直杭 14.3m×12本 P2:直杭 14.3m×12本 |
| 杭延長 | 343.2m |
| 鋼管仕様 | API N-80 φ177.8×12.65t |
| 標準鋼管長 | 1.5m |
| 鉄筋仕様 | SD490 D51 |
| 標準鉄筋長 | 2.0m |
| 削孔方式 | ロータリーパーカッション二重管方式 |
| 削孔機 | クローラタイプ(MKD-106)ショートブーム |
| 空頭制限 | 4.2m(床掘り0.3mで実質4.5m) |
| 上層地盤 | 粘土・砂 |
| 定着地盤 | 砂礫・砂・泥岩 |

工事の特長

- ・本橋梁は、駒沢オリンピック公園内の歩道橋で、交通量の多い駒沢通りに架かるオーバブリッジである。
- ・既存交通(車両および人)を確保した上、空頭制限4.5mで施工可能な既設橋脚の耐震補強工法として、高耐久マイクロパイルが採用された。
- ・プラントはP2側に組立て、P1施工時には、橋面上に配管を行って泥水やグラウトを圧送した。
- ・橋面上配管の破損等による飛散防止対策として、ホース類をブルーシートでくるみ養生を行った。
- ・駒沢通りは上下線が中央分離帯で仕切られており、交通量も多いため、橋脚間の移動には運搬車両を使用した。
- ・施工スピードは、1.5本/日(残業2時間)程度であった。

概要図



施工状況写真



駒沢オリンピック公園案内図



着工前



プラント(P2側)



配管組立状況



配管シート養生

施工状況写真



施工状況



施工状況



施工状況



施工状況



施工状況



杭頭清掃前



杭頭清掃状況



完成